

(様式2)

平成21年度「金沢ユネスコ・スクール推進事業」実施報告書・各学年情報シート			
学校番号	44	学校名	金沢市立朝日小学校
学年	1, 2年	テーマ	環境教育

大すき！朝日の自然
～味わおう！遊ぼう！大切にしよう！～

1 主な学習内容

1, 2年生は、生活科の学習で、身近な自然と親しみながら、自然の不思議さや植物、生き物の素晴らしさを学んできた。朝日校区には、里山の植物や生き物が豊富に見られる散策コースがいくつかあり、その中で学校に最も近く、距離も状況に応じて長短を変えられる「おくぼコース」を選んで、1年間観察に取り組んだ。

生活科では、まず体験活動を重視し、五感を使って自然を感じるようにした。春の芽吹きを感じながら、露の臺を嗅ぐ・笹笛を作って吹く・よもぎを摘んでよもぎ団子を作る等の活動を通して、自然とともにある生活を楽しんだ。そして、様々な植物と触れ合う中で生じた疑問を図鑑や過去の体験から解決しようという意欲につなげようとした。しかし、児童だけではなかなか追求しきれない疑問を一人一人が考える機会として、小野ふみゑ氏を迎えての自然観察会を活用した。事前に何度か回ったコースの中で、「1年間、ずっと観察してみたいもの」をそれぞれ3つずつ選び、疑問に思ったことや気に入った理由を挙げて、児童が目的意識を持って観察に臨むことができた。児童は、自分が選んだ題材だけでなく、それとよく似た植物に関心を持って調べたり、昆虫について質問したりして、集中して観察に取り組むことができた。その際、メモをとったり観察画を描いたりして、大切に記録を残していった。



同時に、学級園や学校農園で花や野菜を育て、「マイ花・マイ野菜」の成長を楽しみに待ちながら世話をすることで、生命の大切さに気付いていった。また、校庭の周辺にある竹林での筍掘りや梅の実を利用した調理を体験し、全校児童とともに味わった。7月には、高学年とともに、松枝章氏から昆虫についての説明を聞き、その後校外生活科学習として「ふれあい昆虫館」へ出かけて、身近な昆虫に親しむことができた。同時期に、中・高学年の総合学習についての中間発表から、発表の仕方の工夫や自分とは違った生き物・植物への取り組み方を知り、新たな視点で自分のテーマに向き合う姿も見られた。

秋には、「自然で遊ぼう」をテーマに、豊富にあるドングリのような木の実や落ち葉、スキの穂等の自然物を使った工作やゲームを考え、上級生を招待して一緒に楽しむことができた。一人一人が「友だちを楽しませるための工夫」をしながら、意欲的に活動していた。



このような体験や学習をもとに、学習発表会では、自分が選んだテーマについて「春・夏・秋」の変化をパワーポイントで発表した。季節による変化が分かるような写真や観察画を使い、教えてもらったことや自分で調べたことを自分の言葉で表現し、保護者や地域の方に広めることができた。たくさんの人の前で発表することで、児童は「頑張ってお話できた」「調べて良かった」と満足感を持ち、校区の自然に対してさらに積極的に関わるようになった。

2 持続発展教育の視点

身近にあるようで実は気付いていない環境の変化を、植物や昆虫といった「五感」を使って感じられる物で知ることができるという、里山の特徴を大いに活用した。また、学校や地域の行事を通して、自然の恵みの素晴らしさを共有する機会を設けた。

今後は、「人の手で守られている」自然の大切さと、「その自然を守るために、自分たちにもできること」は何かを、2年生の生活科や3年生の総合学習の中で考えさせたい。

